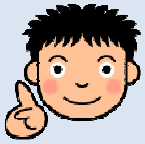
進路指導だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第６号
平成２８年１２月２２日発行

高等部後期現場実習　11/14～11/25

高等部では、次のような流れで現場実習を行っています。

＜高等部の実習までの流れ＞



① 実習希望調査の用紙に希望する実習先を記入し、学級担任に提出する。
② 希望をもとに学級担任と相談する。
③ 担任が、実習希望先を進路担当者に伝える。
④ 進路担当者が、希望先の施設や事業所に実習の依頼をする。（施設や事業所の都合等により、希望通りにならない場合もあります。）
⑤ 実習することが決定したら、生徒、保護者、学級担任が実習先に挨拶に伺う。
⑥ 実　習　開　始

後期の実習では、校外の施設や事業所で、次のねらいのもと一人一人の目標に合わせた実習に取り組みました。

- 適切な進路選択に結び付くよう、現場実習を通して自己理解を深めるとともに、卒業後の生活をイメージする。
- 卒業後の生活にスムーズに移行できるように、円滑な対人関係をつくり、環境に適応する力を付ける。

緑光苑
（就労継続Ｂ型・秋田市下北手）

潟上天王つくし苑
（生活介護、就労継続Ｂ型・潟上市）

由利本荘地域生活支援センター
（生活介護・由利本荘市）

やすらぎの家
（地域活動支援センター・秋田市土崎）

杉の木園
（生活介護・秋田市山内）

ウェルビューいずみ
（生活介護、就労継続Ｂ型・秋田市泉）

中学部作業強調週間

【パルプ班】３２７．５枚の牛乳パックをちぎりました。

【シュレッダー班】
８５０枚の新聞紙を裁断しました。

【ミキサー班】３５２５グラムの柔らかいパルプを作りました。

【袋詰め班】２３４袋の吸収剤を作成しました。

【カラフルクリーナー班】
トータルで１３３センチ、編みました。

１２月５日から８日までの４日間、「相手を見て大きな声であいさつ、報告をする。」と「めざせ、自己ベスト。」を目標に作業強調週間が行われました。

４日間の作業で、各班がそれぞれ製作した部材から２９セットの販売セットが完成しました。

１日を通して同じ作業を繰り返し行うことは、体力、精神力ともに、頑張りが求められます。今回の作業週間では、自分が担当する作業に対して責任をもち、たくさんできた喜びを感じる姿が見られました。もっと作りたい、たくさん作れて良かったと自信がついた４日間になりました。３学期には販売会を予定しています。詳しくは、後日お知らせします。

平成２９年度「個別の支援計画」「個別の指導計画」に関するアンケート（その2 進路）の記入についてお願い

平成２９年度「個別の支援計画」「個別の指導計画」に関するアンケート（その２進路）を１２月２２日付で、配付しております。記入例を参考の上、御記入してくださるようお願いいたします。１月３０日（月）に各学級の担任まで提出してくださいますようお願いいたします。

ゆっくり時間のとれる冬休み中に、このアンケートをきっかけとして、将来のことや進学・進級のこと、来年は、何を頑張ろうかなど進路につながる話をする機会にしていただければと思います。